

令和2年4月30日

保護者各位

社会福祉法人小松市大和善隣館  
幼保連携型認定こども園中海こども園  
園長 荒井 早苗

## 「中海こども園」令和2年度事業計画

新緑の候、皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。令和2年度がスタートし、1か月が経ちました。日々、コロナウィルスの脅威を感じながら緊急事態宣言を受け、保護者の皆様には家庭保育のご協力をいただき、誠にありがとうございます。今後も保護者の皆様と共にお子様の健康管理に努めて参りたいと思います。

さて、令和2年度の中海こども園の事業計画を保護者の皆様にお伝えするために園だよりと一緒に配布させていただきます。今年度は行事が縮小・中止となることもありますが、中海校下の地域性、自然環境を活かしながら子どもの主体性を育ていけるよう下記のような教育・保育計画を実践して参りたいと思います。保護者の皆様にはご理解、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

(中海こども園ホームページにも掲載されています)

### ●教育・保育理念

『善隣のこころ』

“いつでも どこでも そして だれにでも われ等 善き隣人たらん”

### ●教育・保育の方針 『三つのゼン』

**安全**：自分の身を守る安全意識を育てる

子どもの思いを受け止めることで信頼感や自己肯定感を育む

**自然**：自然との出会いにより自然に親しみ、自然を大切にする心を育てる

**積善**：人に対する信頼感や思いやりの気持ちを育む

道徳性や規範意識を身につける

### ●教育及び保育の目標

「遊びを通して様々なことを学び、生きる力を身につけていく」

子どもの主体性を尊重し、

- ・健康で心豊かな子どもを育てる
- ・感性豊かな子どもを育てる
- ・思いやりのある優しい子どもを育てる
- ・自分で考え、進んで行動できる子どもを育てる

### ●人事計画目標

- ・職場環境の改善、組織の強化に努める。
- ・教育・保育の質の向上に向けて人材育成を図る。
- ・研修計画に基づき職員のキャリアアップを図る。
- ・第三者評価を受審することによって教育・保育の資質向上をめざす。

## ●収支計画目標

- ・新園舎の環境を活かし教育及び保育の充実を図り、園児数確保の努力をする。

## ★単年度事業計画

### ●教育保育計画

- ・安心感と信頼感をもっていろいろな活動に取り組む体験を積み重ねる。
- ・主体的に環境と関わり、十分に活動し、充実感や満足感を味わうことができるようにする。
- ・友だちとの関わりの中で、相互に刺激し合い、興味・関心を深めていく。
- ・遊びの中で発達していく姿を様々な側面から総合的に捉え、発達にとって必要な経験が得られるようにする。

### ●健康支援

- ・健康状態や発育及び発達の状態の把握、園児一人一人の健康の保持及び増進を図る。
- ・疾病等の対応を行う。(体調不良児等への適切な処置、感染症対策・個別ケアへの適切な対応)
- ・子どもたちから発信する健康支援に取り組んでいく。

### ●食育の推進

- ・健康な生活の基本としての食を営む力の育成に向けその基礎を培う。また、意欲を持って食に関わる体験を積み重ねていくことにより食習慣の形成、食に対する興味や関心を持つ。
- ・地産地消、地元で採れた野菜の提供を心がける。
- ・様々な体験をすることにより感謝の気持ちを持ち、自分の体や健康にも関心を持ち生活できるようにする。
- ・ランチホールの利用をさらに工夫することによりいっそうの食育の推進を図る。

### ●子育ての支援

子どもの利益を最優先し、かつ保護者の自己決定や自己選択を尊重するように努める。園と保護者が協力して、子どもの育ちを支えていく関係を構築していく。

### ●地域との連携

- ・地域との交流活動を充実させていく。地域文化の継承(仏御前、剣舞)
- ・災害に備えた環境づくり、緊急時対応マニュアル、子どもの引き渡しなど明確にし、さらに災害時における町内との協力体制を図る。町内の避難訓練に参加する。(園長・副園長・主幹)
- ・野菜づくり、クッキング(ランチホールを利用して)等を通して、地域の方(高齢者等)との交流を図る。

### ●小学校との連携・接続

- ・幼児期の教育と小学校教育が相互理解を深めながらお互いの良質な部分を取り入れていけるよう小学校へ働きかけていく。
- ・小学校の年間行事計画に園との交流を取り入れていただいた。さらに小学校と円滑な連携をとりスムーズな接続となるように努めていく。